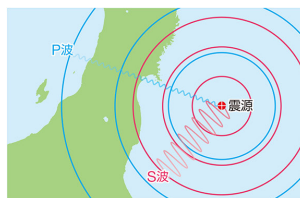


# さまざまな角度から 防災と向き合う

すべての教科で防災教育に取り組んでいます

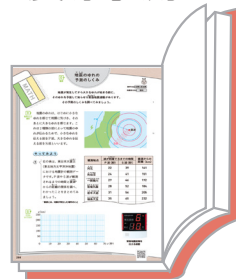
## 1 防災を自分事に

災害に備える意識と教科の学びがつながります。



観測地点	波が到着するまでの時間		震源からの距離 (km)
	P波 (秒)	S波 (秒)	
河北	22	39	141
気仙沼	24	41	151
一関舞川	27	46	172
宮城丸森	28	52	184
岩手大迫	31	56	205
福島大玉	35	65	232

比例を利用して  
震源予測



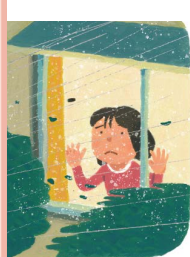
「新編 新しい数学 1」 p.288 地震のゆれの予測のしくみ

数学

道徳



「自分ならどうする？」を考える



### 15 夕暮れどきの避難

「命を守る」——いざというときに備えるために

① あなたは避難場所に行きますか？ それとも家にとどまりますか？

② 「家（じや）に避難するの？」  
「避難するの？」  
「避難するの？」  
「避難するの？」

③ 問いかけによる対話を通して、避難について考えましよう。

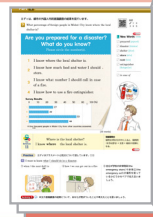
「避難場所に行く側の人たいてい、いかけましよう。」  
「避難するの？」  
「避難するの？」  
「避難するの？」



「新編 新しい道徳 1」 p.73-75 道徳×防災 夕暮れどきの避難

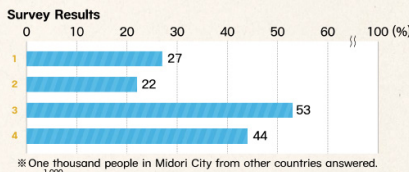
英語

地域で  
できることを  
考える



Are you prepared for a disaster?  
What do you know?  
Please circle the number(s).

- I know where the local shelter is.
- I know how much food and water I should store.
- I know what number I should call in case of a fire.
- I know how to use a fire extinguisher.



\* One thousand people in Midori City from other countries answered.

- New Words
- prepared [prɪpərd]
  - disaster [dɪzəstər]
  - shelter [ʃeltər]
  - store [stɔːr]
  - case [keɪs]
  - extinguisher [ɪkstɪŋgwɪʃər]
- in case of



「NEW HORIZON English Course 3 Unit4」 p.52 How can we help each other in a disaster?

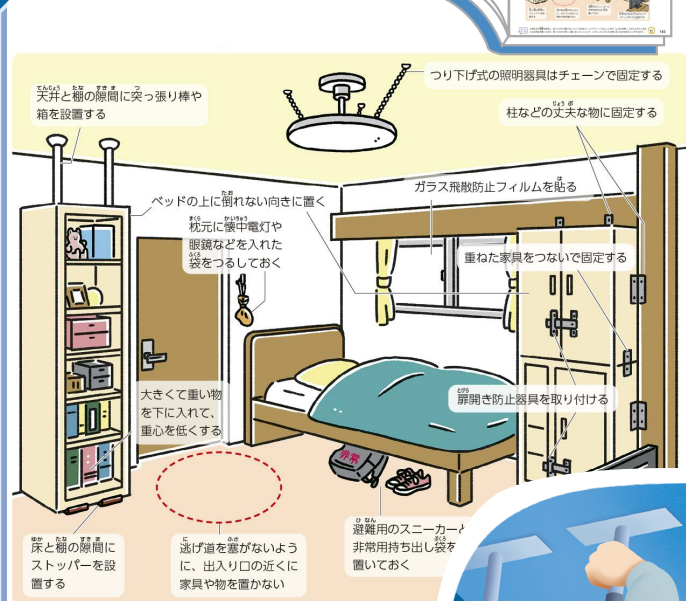
# 2

## 防災に生かす

安心・安全に暮らせるよう、教科の学びを生かして、身近な問題に取り組みます。

### 家庭

「新編 新しい技術・家庭 家庭分野」  
p.183 住まいの中の地震対策の例



### 自分の家からできる防災

### 技術

## 防災マップ作り (プログラミング×防災)

3 コンテンツのプログラムの制作

1 プログラムの制作

①地図を表示するプログラムを作成する。選定ルートの目印になる場所や建物の緯度と経度を調べて、表示する地点に設定する。実行して、表示範囲を確認する。

②避難ルートを線で結び、目印になる場所に説明を表示するプログラムを作成して追加する。

2 動作確認、デバッグ

説明や写真などが正しく表示されるかを確認し、必要に応じて修正したり印刷したりする。

4 評価、改善、修正

問題解決を繰り返そう。

新たな問題の発見

近くの川の水位監視地点も地図に入れて、カメラの映像が見られるURLにアクセスできるようにしたい。

表示したい場所の緯度や経度の数値は、国土地理院のWebページで調べ、その数値を並べて国土地理院のデータから表示したい地域の地図を読み込むことができる。

地図に対して写真が大きすぎるから、表示する大きさを50%に変更しよう。

表示したい画像データ名

### 書写

「新編 新しい書写」  
p.66 地域の活動に参加しよう

川西町防災訓練  
—災害に備えよう—

日時：2月14日(土) 午前10時～

場所：川西中学校 校庭・体育館 (雨天時は体育館のみ)

内容：川西中2年生による防災マップの発表  
川西消防署による消火訓練とAED指導  
川西町内会による炊き出し訓練

皆様の参加をお待ちしております。

川西町防災訓練実行委員会

行事名

日時・場所・内容・持参するものなど

呼びかけの言葉

主催者

屋外に掲示する場合は、雨で文字がにじんだり破れたりしないように工夫しよう。

炊きだしは、皆様のみなさま

「わたしに出来ることは...」

### 書いて伝える防災

「新編 新しい保健体育」  
p.190 自然災害が発生したときの行動

災害時に取るべき行動を学ぶ

4m以上

保健体育

「新編 新しい技術家庭 技術分野」  
p.237 双方向性のあるコンテンツで地域の安全・安心を守ろう

防災マップ作り (プログラミング×防災)

1 プログラムの制作

①地図を表示するプログラムを作成する。選定ルートの目印になる場所や建物の緯度と経度を調べて、表示する地点に設定する。実行して、表示範囲を確認する。

②避難ルートを線で結び、目印になる場所に説明を表示するプログラムを作成して追加する。

2 動作確認、デバッグ

説明や写真などが正しく表示されるかを確認し、必要に応じて修正したり印刷したりする。

4 評価、改善、修正

問題解決を繰り返そう。

新たな問題の発見

近くの川の水位監視地点も地図に入れて、カメラの映像が見られるURLにアクセスできるようにしたい。

表示したい場所の緯度や経度の数値は、国土地理院のWebページで調べ、その数値を並べて国土地理院のデータから表示したい地域の地図を読み込むことができる。

地図に対して写真が大きすぎるから、表示する大きさを50%に変更しよう。

表示したい画像データ名



# 3 防災を知る

災害の仕組みを知り、過去の災害から学び、  
これから自分にできることを考えます。



## 仕組みを知り未来に向き合う

理科



「新編 新しい科学 1」  
p.216 地震によって起こる現象

国語

## 災害時の出来事から 情報やメディアの 意味を考える



「新編 新しい国語 3」  
p.188-195 いつものように新聞が届いた  
—メディアと東日本大震災

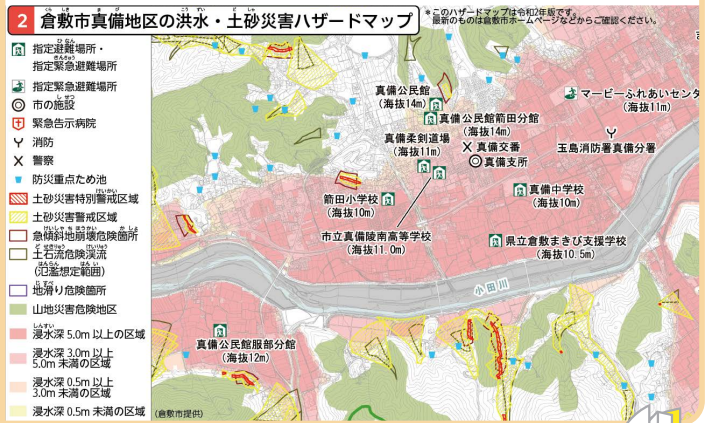


## 自然災害に関する 豊富な地図資料

地図



「新編 新しい社会 地図」  
p.135 洪水・土砂災害ハザードマップ



社会

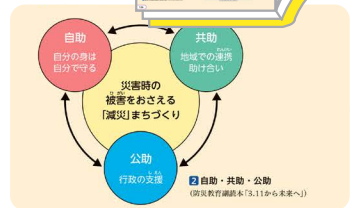
## 3 分野を貫くコラムで防災について考える



「新編 新しい社会 地理」  
p.169 鉄道が支える地域の復興



「新編 新しい社会 歴史」  
p.268 震災の記憶を語りつぐ



「新編 新しい社会 公民」  
p.126 東日本大震災からの復興と防災